

2.7.1

社会を明るくする運動

7月1日～31日

7月は「社会を明るくする運動月間」です。

「社会を明るくしよう」という言葉はよく耳にしますが、いったい何をすればよいのでしょうか。毎日のように新聞をにぎわず凶悪事件などを、わたしたちの手で防ぐことはできないにしても、子どもの非行を防ぐといった家庭でなければできないこともあります。

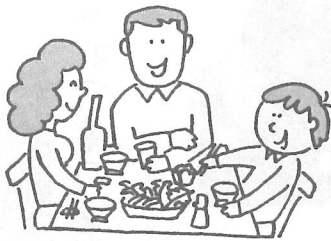
もうすぐ夏休み。解放感から子どもの心がゆるみ、非行にはしりがちです。そこで今、夏休み中に家庭でこそできる子どもの非行防止を考えてみました。

非行を防ぐ家庭の役割

親の生活を見せる絶好の機会

朝から晩まで子どもと一緒に40日間。夏休みは親、特に母親にとっては、幼児期のとくと違って子どもにわずらわしさを感ずることもあるでしょうし、目ざわりに思えることもあるでしょう。しかし、視点を換えれば、夏休みは、親の日常生活のありのままを子どもに見せる絶好の機会なのです。

夏休みを特別な期間とは考えず、構えず、いつもどおり



の生活を送り、子どもをその中に巻きこむことよって、子どもは親の観察者となり得るのです。年齢が高くなるほど、批判的な眼で見られる覚

悟は必要です。しかし、わが家の暮らしが当たり前前に動いている背後にある親の存在を、必ず子どもは感じとるものです。そしてこれは、子どもの非行化を防ぐ、家庭の基本的な役割でもあります。

子どもに出させる 夏休みのプラン

夏休みは、子どもの自立心を養う絶好の機会ですが、一歩間違えると、とんでもない方向に向かう危険性もはらんでいます。夏休み前に、休み中の大ざっぱな計画を子どもに

出させ、一緒に検討してください。学校からの一般的な注意事項も、わが家の状況に合わせて話し合ってください。たとえば「夜遊びはやめよう」とあったら、わが家にとって、何時からが夜遊びになるのか、という具合に。

遠くの親類を訪れることも子どもを含め、親から離れて外泊するプランについては、厳しすぎると思うくらい目を配ってください。

子どもがうるさかっても、お父さんたちはこういうことはきちんとしたいのだという姿勢を崩さないことが大切です。

ひとたび外泊は気楽なものだという下地ができると、親子間で何か起こったとき、簡単に家を飛び出すという行動につながる心配があります。



建設のあゆみ

〔工事中〕

◎道路舗装補修工事

町道新島三島区内線	203 m
町道新青・東線	40 m
町道鳥喰新田・北清水線	481 m
町道上町区内線	215 m
町道中台区内線	195 m

伝言板のやりとりで親子のコミュニケーションを

最後にひとつ提案を。休みを機に、台所やトイレなどに伝言板を取り付け、文字による親子のコミュニケーションをはかってください。

口では言い争いになることも、文字にすると冷静に伝わります。お互いに気づかなかった一面に触れるなど、なかなか効果があるものです。

(福祉課・教育委員会)